発行所　〒010-1424 秋田市御野場二丁目14-1　医療法人 正観会 御野場病院
TEL 018-839-6141　FAX 018-839-5025
発行人　皆河　崇志　　編集主幹　後藤　真司　　題　字　真田　勢子

第20号

ONOBA HOSPITAL

なおみ

理念

安全・信頼・連携・地域密着

私たちは、**地域に密着した病院**として、他の医療機関や関係の方々との密接な**連携**のもと、**安全**で心の通った医療・保健・福祉サービスを提供し、患者さんや地域の皆さんから**信頼**され選ばれる病院を目指します。

お知らせ

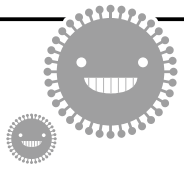
ホームページに看護部のページを新設しました。

看護部一同様々な意見を出し合い、看護部紹介ページを立ち上げました。部門紹介や職員の声、職員育成プロジェクトなど、内容はとても充実したものとなっています。ぜひご覧になってください。

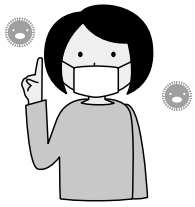
ご意見をお聞かせください

地域の皆様に、安心して当院を利用していただくために、院内に「ご意見箱」を設置しております。直接当院職員にご意見をいただいてもよろしいのですが、なかなかお話しづらいものもあると思います。当院では取り組んでいないことなど、ご要望でも結構です。ぜひご意見箱をご利用ください。

http://www.seikankai.or.jp



インフルエンザにご用心



秋田市内の今年の冬は、雪が降っては融け、降っては融けを繰り返し、寒いのか暖かいのか、どちらともいえない気候が続いています。さて、県内各地でインフルエンザの感染報告が出てきており、日頃の予防活動が特に重要です。インフルエンザは風邪の諸症状に加え、高熱や関節痛、気管支炎や肺炎を併発し、いわゆる「かぜ」とは症状が異なるとされていました。しかし、診断技術の進歩によって、かぜと似たような症状でも、インフルエンザと診断されることも多くなっています。インフルエンザが流行している時期は、体調の変化に少し敏感になって、早めに医師の診断を受けていただくことをおすすめします。受診の際、「インフルエンザかな？」と思われる場合は、あらかじめお電話を入れておくと良いでしょう。インフルエンザは予防接種を受けることはもちろんなのですが、日々の予防活動が効果的です。うがい・手洗いをすること、人混みは避け、マスクの着用を心がける。栄養や休養をとり、体調管理に気をつける。などです。また、咳エチケットにも意識し、咳やくしゃみをする場合は、人から離れたり、ティッシュなどで口と鼻を抑えたりするなどしましょう。このような日常の簡単な心がけで、感染症の危険性は大幅に減少します。春はもうすぐそこまで来ております。皆様体調管理に十分気をつけてお過しください。

■診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	内　　科	寺田　邦彦	吉川　晴夫	皆河　崇志	金谷　有子	寺田　邦彦
	神経内科	—	—	—	石黒　英明	石黒　英明
午後	内　　科	—	小林　佳美	吉川　晴夫 市原　利晃 （第2）	皆河　崇志	小林　佳美
	リハビリ	—	小林　佳美	—	—	小林　佳美
	神経内科	石黒　英明	—	—	—	—

※平成28年10月1日以降
※出張などにより、担当医が変更になる場合がございます。
　指定の医師をご希望の場合は、事前にお問合せください。

■診療時間

	午　前	午　後
月　～　金	9時～12時	1時30分～3時

※午前の受付は11時30分までにお願いします。

病棟紹介

3F

地域包括ケア病棟
3A　病棟　33床

療養病棟
3B　病棟　44床

2F

回復期リハビリテーション病棟
2A　病棟　45床

特殊疾患病棟
2B　病棟　30床

●回復期リハビリテーション病棟　2 F

脳血管疾患、大腿骨等の骨折、廃用症候群等の発症後で在宅復帰を目指す患者さん。

●特殊疾患病棟　2 F

脊髄損傷等の重度障害者、重度の意識障害、筋ジストロフィーまたは神経難病の患者さん。

●地域包括ケア病棟　3 F

急性期からの受け入れ、緊急時の受け入れ、在宅生活復帰支援、看取り。

●療養病棟　3 F

パーキンソン病などの難病、気管切開、喀痰吸引１日８回以上、褥瘡処置、24時間持続点滴、酸素療法等の疾患・処置が必要な患者さん。

第12回

南部圏域の地域包括を考える会

なんケアの会

メインテーマ

在宅看取りを支える

～幸せな人生の最期を迎えるための支援～

開催日時：平成29年12月12日（火）18：00～19：15
会　　場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール
参 加 者：53名（地域包括支援センター3名、介護事業所関係者28名、医療関係者1名、調剤薬局1名、一般参加3名、御野場病院職員17名）

演題

『高齢者の終末期医療 ―最近の考え方―』

御野場病院　院長　皆　河　崇　志

平成29年12月12日㈫に「第12回なんケアの会」を開催致しました。地域の皆様、医療・介護関係者の皆様など多数の方々にご参加頂き、誠にありがとうございました。

メインテーマを「在宅看取りを支える」とし、今回は御野場病院の院長である皆河崇志先生より、「高齢者の終末期医療～最近の考え方～」と題した公開講演をしていただきました。

高齢者の終末期に関する基礎知識、著名人の終末期事例、事前指示（リビングウィル、ＡＣＰ）の重要性、過去と現在の看取りに関する変化など幅広く高齢者の終末期医療についてご講演いただきました。質疑応答の時間には、参加者の皆様から「施設看取りについて、連携しやすい施設の特徴はありますか？」「癌患者様に関する支援について助言をいただきたい。」など多くのご質問をいただき、改めて在宅看取りに関する学びを深めることが出来たのではないかと思います。

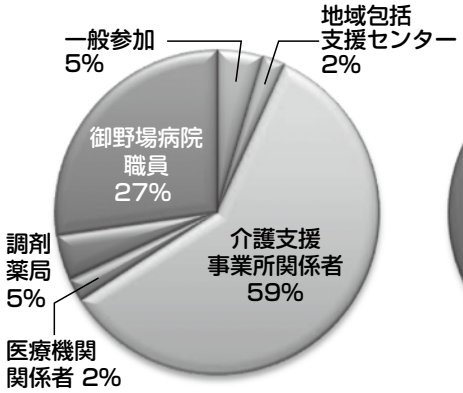
次回からの当会の予定ですが、メインテーマを「（仮）高齢者の栄養管理」とし、全３回の開催を予定しております。

これまでと同様に地域の皆様や医療・介護関係者の皆様のお役に立てるように取り組んで参ります。

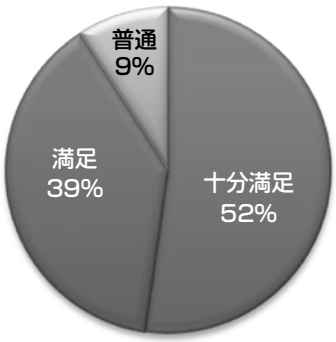
今後とも、より一層のご支援・ご指導をいただけますよう、宜しくお願い致します。

アンケートの集計結果

参　加　者



講演会に参加していかがでしたか？



講演会の内容を十分に理解できましたか？

回収率：83.0%（アンケート配布：53名、回収：44名）

会場の様子

皆様からのご意見・ご感想

知識の向上につながりました。ありがとうございます。GHの利用者の最期について、今一度考えていきたいです。

介護支援事業所関係者

終末期について、色々なお話を聞くことが出来、ためになりました。最近は少しずつ、ご家族さんの希望が在宅に向いてきている様な気がしています。

介護支援事業所関係者

在宅での看取りが一般の方に浸透していってほしいと思いました。

御野場病院職員

次回開催のお知らせ

開催日時／平成30年2月9日（金）18：00～19：15
会　　場／南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

消防訓練

～災害時に備えて～

10月に夜間火災を想定した消防訓練を行いました。毎年恒例ではございますが、前年度の反省を生かし、より実際の災害に近い状況での訓練を行うよう心がけております。病棟での火災発生を想定し、消化ホースを使用した消火活動や安全区画へ患者さんの避難誘導・搬送等を行い、災害発生時のシミュレーションを行いました。訓練は秋田南消防署の方々にご指導いただき、より本格的に行うことができました。訓練終了後は、災害時に気を付けなければいけないこと、AED の使用方法を秋田南消防署より教えていただきました。職員一同災害について再確認することができました。

栄養科より

12月の行事食についてご紹介いたします。

茶話会では一足早いクリスマスのおやつをご用意いたしました。

プリン生地の上にロールケーキとクリームとチョコレートをのせかせてみました。プリンとケーキが一度に食べれるなんて贅沢！なケーキパフェに、患者さんも喜んでくれました♪

ランチデーもクリスマスメニューをご用意いたしました。チキンピラフに野菜スープ、中でも一番人気だったのがエビフライです。さっくさくの衣にタルタルソースがよく合っていました。

クリスマスの洋風メニューはとっても好評でした。

さて、年が明けまして１月、今年は戌年です。

戌年にちなんで、今年も食事で患者さんを少しでも犬康にできますよう、栄養科一同頑張ります。